



←協会ロゴ兼エンブレム  
16年7月制定。協会員・加藤隆久氏の力作。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボール追って流そう爽やかな汗」を訴える。「1973」は協会創立年。半世紀近い歴史。



抑えの岩瀬引退  
時の顔  
岩瀬仁紀・43歳。中日投手。1002試合登板。407セーブは日本記録。西尾東高。愛知大。99年入団。S王5度。同僚。浅尾・荒木・野本も引退。

# 原田・中筋組 初V



男子1部4強——初優勝の原田・中筋(前左)、2連覇を逃した和崎・黒岩(前右)、3位の高木父子(後左)と井林・佐藤(後右)



女子1部2度目Vの池本・井戸田(前右)、連覇を阻まれた浦野・森山(前左)、3位の長谷川・土井(後左)と富永・西堀(後右)

## 秋季大会1部

### 秋季大会 成績

<男子1部>(参加27組)  
優勝=原田敦也・中筋孝臣 (aiのある場所)  
準優勝=和崎省伍・黒岩竜二 (aiのある場所)  
第3位=高木亘紀・高木 順 (テニス協会) 井林知之・佐藤久義 (JUEGO)

<男子2部>(24組)  
優勝=坪田義正・小川栄二 (BRIO)  
準優勝=嶋 利男・奥村慎二 (ロング・ロング・ロング)  
第3位=石川 均・稲葉 巧 (ロング・ロング・ロング) 洞口和史・岡野敏春 (チーム吞助)

<男子壮年>(5組)  
優勝=渋谷尚紀・近藤峰夫 (遊YOU)  
準優勝=福島浩平・加藤 勤 (TeamBlueMountains)  
第3位=加藤孝平・外山 三起夫 (みろく) 谷口元之・柴田高良 (テニス協会)

<女子1部>(28組)  
優勝=池本麻里絵・井戸田 嘉奈子 (JUEGO)  
準優勝=浦野優子・森山由香 (JUEGO)  
第3位=長谷川貴子・土井 智子 (NAS) 富永紗織・西堀和恵 (aiのある場所)

<女子2部>(10組)  
優勝=奥村麻美・水野 都 (ロング・ロング・ロング)  
準優勝=牧野比佐江・舟田 聡子 (ロング・ロング・ロング)  
第3位=加藤千里・福島菜摘 (BEARS) 森田理恵・平田慶子 (フリー)

## 女子 池本・井戸田が奪冠

秋季大会(10月7日・市民公園)男子1部は初出場の原因。中筋組が同僚の和崎・黒岩組の連覇を阻んで初優勝。女子1部は池本・井戸田組が同門の浦野・森山組を下して2度目V。

和崎組の連覇阻む  
男子1部はハイレベルの激戦。決勝はai場所対決。V2を狙う

同僚下し2年ぶり  
女子1部はJUEGO対決。池本・井戸田組が浦野・森山組の連覇を阻んで6-1で競り勝ち、2年ぶりに王座を奪回した。3決は長谷川・土井組が富永・西堀組を下した。(2・3面へ続く)

### 秋季大会1部 近年の優勝ペア

[年]	[男子]	[女子]
07	竹元康明・鈴木猛史	高木淳子・松原由布子
08	八百山浩幸・富士和仁	高木淳子・松原由布子
09	八百山浩幸・富士和仁	松山 恵・柴山千沙子
10	富田一行・福山剛章	山田久美子・柴山千沙子
11	八百山浩幸・富士和仁	小丸崎さくら・川口 綾
12	喜多真一郎・野中 裕	吉村鮎美・作石 節
13	森田将文・村松祐次	小境陽子・梅村奈美子
14	八百山浩幸・富士和仁	小境陽子・古橋葉月
15	小島将斗・伊藤貴彦	柴山千沙子・中野久美子
16	斉藤智哉・黒岩竜二	井戸田嘉奈子・池本麻里絵
17	黒岩竜二・和崎省伍	浦野優子・森山由香
18	原田敦也・中筋孝臣	池本麻里絵・井戸田嘉奈子

<秋季 男子1部戦績>

**原田・中筋**

和崎省伍・黒岩竜二 (ai場所) 61  
 服部徳春・柳沢洋介 (フリー) 64  
 加藤隆久・苦谷厚志 (協会) 62  
 水野 斉・鈴木保有 (M1) 61  
 伊神好将・片岡芳彦 (ai場所) 62  
 岩下亮太・森川 繁 (愛牧) 61  
 加藤 渡・加藤瑞貴 (BEARS) 62 63  
 高木亘紀・高木 順 (協会) 63  
 村瀬洋一・吉岡 健 (ai場所) 63  
 酒井真樹・鈴木克史 (T-B) 75  
 岩成洋平・大石 悟 (ロング3) 63  
 三品伸泰・酒井達也 (BEARS) 63  
 磯村和信・山本政巳 (T-B)

**井林知之・佐藤久義 (JUEGOA)** 64  
 田口俊一・和田祐記 (フリー) 63  
 久米孝幸・森末 隆 (愛牧) 61  
 森本邦裕・谷山 隼 (フリー) 63  
 山上 剛・小澤康太 (ai場所) 75  
 八百山浩幸・富士和仁 (愛牧) 61  
 酒井勝久・小林清成 (ロング3) 75  
 加藤昌也・清家善之 (NAS) 61  
 原田敦也・中筋孝臣 (ai場所) 63  
 壁田一馬・寺澤良平 (BEARS) 64  
 秋山昌史・堤 龍一郎 (フリー) 61  
 吉永尚志・日比野康 (BRIO) 63  
 手島晋治・佐藤純也 (NAS)

**準優勝II 和崎・黒岩組**

◆和崎の話=『連覇  
 できず残念。阻止  
 に来た同僚2人の  
 壁が厚すぎた〜』

[3決] 高木・高木 6-2 井林・佐藤

<秋季 女子1部戦績>

**池本・井戸田**

浦野優子・森山由香 (JUEGO) 63  
 松堂佐和子・伊藤奈穂 (丸新) 75  
 中川美恵・小川由香子 (h2ETA) 62  
 森田百代・村瀬真理子 (ai場所) 63  
 伊藤弓子・鈴木洋美 (フリー) wo  
 森みづほ・宮城清美 (Ms HNT) 両者欠  
 松井みどり・鈴木さよ子 (T・呑助) 62  
 安藤美奈・入江 愛 (O3) 63  
 安田美菜・鈴木真美 (BEARS) 75  
 橋本明子・稲垣陽子 (MATC) 64  
 富永紗織・西堀和恵 (ai場所) wo  
 藤垣朱美・浜本賀洋子 (フリー) 63  
 中谷直子・五島美佐子 (フリー) 60  
 大島美香・犬飼洋子 (ロング3)

酒井代記・水谷千津留 (フリー) 62  
 下村富士美・松井ゆかり (フリー) 62  
 黒川栄子・金子清子 (フリー) 63  
 中橋侑佳・村田麻里子 (BRIO) 62  
 中野久美子・柴山千沙子 (丸新) 64  
 加藤ゆかり・加茂冷子 (MATC) 62  
 池本麻里絵・井戸田嘉奈子 (JUEGO) 76(3)  
 林部千佳子・飛山るみ子 (Tまごころ) 61  
 辻田和子・山岡久美子 (フリー) 75  
 遠藤理恵・内藤京子 (T・呑助) wo  
 長谷川貴子・土居智子 (NAS) 61  
 竹山桂子・高 桃子 (BRIO) 75  
 河合利江・寺田ひとみ (丸新) 62  
 土屋葉月・沖胡美紀 (JUEGO)

**準優勝II 浦野・森山組**

[3決] 長谷川・土井 6-3 富永・西堀

<男子2部戦績>

**坪田・小川**

梅村和久・稲垣将樹 (MATC) 64  
 井出直紀・菊池唯史 (BEARS) 62  
 洞口和史・岡野敏春 (T・呑助) 62  
 田辺 晋・永田幸平 (HNT) wo  
 浅田将義・笠井隆行 (フリー) 61  
 瀧本勝成・高島基裕 (BRIO) 64 63  
 宇野元英・斎藤健太 (スマート) 60  
 吉川耕平・安井博文 (ロング3) 62  
 坪田義正・小川栄二 (BRIO) 62  
 岩井裕明・佐藤正美 (協会) wo  
 服部達哉・菊山文彦 (プランサ) 64  
 松岡晃司・酒井高志 (BEARS)

平田良一・大野 希 (HNT) 63  
 河村康之・松尾直人 (ロング3) 62  
 深澤辰夫・落合輝久 (Tカタヤ) 60  
 村田慎基・伊藤良樹 (フォレス) 62  
 嶋 利男・奥村慎二 (ロング3) 61  
 酒井将矢・長田昌弘 (YTC) wo  
 井上秀人・加藤啓太 (プランサ) 61  
 磯村信芳・近藤喜満 (フリー) 61  
 石川 均・稲葉 巧 (ロング3) 61  
 高木正則・樋口剛央 (協会) 61  
 鈴木愛高・根岸洋平 (BRIO) 63  
 船岡崇大・伊藤賢太 (BEARS)

**準優勝II 嶋・奥村組**

※同所属の2組に  
 開始時刻変更の連  
 絡つかず。9時まで  
 待ったが現れず。  
 申し込み書は正確  
 に記入を。

[3決] 石川・稲葉 6-3 洞口・岡野

奥村・水野組 圧勝

**男子2部 坪田・小川卒業V**

男子2部は参加24組。  
 坪田・小川組と嶋・奥村組  
 の決勝はタイブレーにもつれ  
 込む大接戦。坪田組が7  
 1-3で取って2部卒業の優  
 勝。嶋組も1部昇格。3決  
 女子2部は10組が熱  
 戦。奥村・水野組がパワ  
 ルなプレーで決勝進出。牧  
 野・舟田組に6-2で快勝  
 して優勝。ともに1部へ3  
 決は加藤・福島組が森田・  
 平田組を下した。

**奥村・水野**

女子2部 戦績

加藤千里・福島菜摘 (BEARS) 61  
 原 淑子・吉川千春 (ロング3) 64  
 鳥羽まゆみ・井村恵美子 (フリー) 62  
 小出かおる・高木由妃子 (アルパ) wo  
 牧野比佐江・舟田聡子 (ロング3) 6-2  
 奥村麻美・水野 都 (ロング3) 62  
 小崎美枝子・金光康子 (いいる) 61  
 森田理恵・平田慶子 (フリー) 60  
 池田富子・西尾祐子 (フリー) 61  
 久米沙織・中垣 恵 (ロング3)

※1回戦同門対戦回避  
 の原則で10数度の無作為  
 抽選。この配慮が逆に同  
 門メンバー有利の課題。

[3決] 加藤・福島 6-3 森田・平田

◆2部決勝2ペアは1部へ昇格 3年間には2部出場ダメ

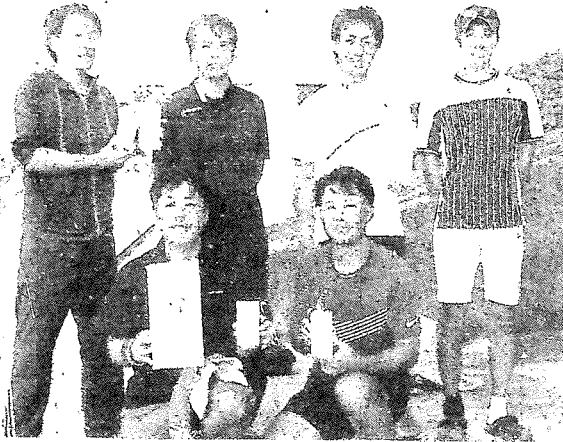
男女2部決勝進出ペアは1部へ  
 昇格します。パートナーを替えても  
 3年間には2部出場はできません。但  
 し、この規定は60歳以上は適用外。

秋季女子2部。優勝し1部昇格した奥村・水野組(前右)と準優勝の牧野・舟田組(前左)。後方は3決勝者の加藤・福島組+α



# 祝卒業

※3決勝者までにメダルと賞品。3決勝者は賞品ののみ。



男子2部卒業Vの坪田・小川(前)と準優勝の嶋奥村(後右)。後左は3決勝者の石川・稲葉

## 10月の練習会

(市民公園Aでナイター)

10月10日(水) 19~21時 3個面  
13日(土) 17~21時 3個面  
20日(土) 17~21時 3個面  
(今年最終)

## 行事日程

### ★第8回 高校生学年別大会

10月27日(土)、11月3日(土)。市民公園で午前7時~午後5時。瀬戸近郊高校生。男女1・2年別単・複。参加費=1人800円。学校関係者に案内。予備日=11月10日(土)。

### ★壮年・レディース大会

11月25日(日)、市民公園で午前9時~午後5時(午前7時からコート使用可)。市内在住・在勤または協会員。男子45歳以上・女子40歳以上の男女別複。各先着32組募集。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=10月15日~11月7日。予備日=12月16日(日)。10月15日付け広報掲載。

### ★協会創立記念大会&総会

12月2日(日)、市民公園Aで午前9時~午後5時。正午~午後1時まで体育館で総会。往復はがきで通知。返信ください。予備日なし。雨天時は総会のみ行ないます。

### ★協会理事会&理事親睦大会

19年2月10日(日)。理事会は体育館で午前11時~午後1時。理事親睦大会は午後5時まで市民公園Aで。往復はがきで通知。予備日なし。雨天時は理事会のみ行ないます。

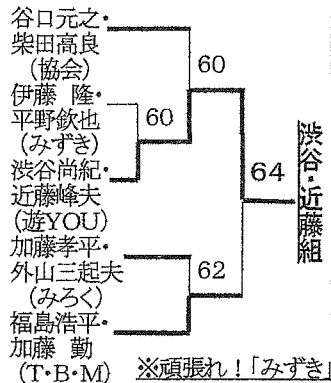
### ★19年 春季テニス教室

19年3月3日、10日、17日の日曜3回。市民公園Aで午前9時~午後1時。市内在住・在勤または協会員。先着60人募集。参加費=1人4,500円。受付=2月1日~27日。予備日=3月24日(日)。2月1日付け広報掲載。

### ★第34回 瀬戸地方高校生大会

19年3月21(木)・22日(金)の両日、市民公園で午前7時~午後5時。瀬戸近郊高校男女団体戦。参加費=1チーム4,000円。学校関係者に案内。予備日=3月23日(土)。

### <壮年男子 戦績>



[3決] 加藤・外山 6-1 谷口・柴田

### 壮年「遊YOU」悠々V

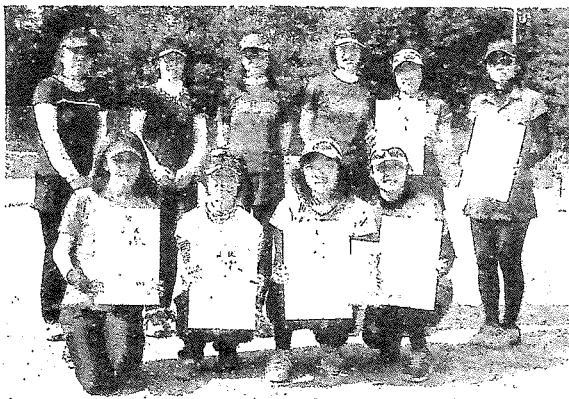


男子壮年優勝の渋谷・近藤組(前左)、準優勝の福島・加藤組(前右)、3位の加藤・外山組(後右)と谷口・柴田組(後左)

### クイズ3Q

Q1 秋季大会、男女1部の優勝ペアは？  
Q2 100歳ダブルス今回で第13回。男子ペア以外の優勝は何度？  
Q3 大坂なおみ、全米から「東レ」決勝で敗れるまで何連勝？

### 「レディースチャレンジ」6組が6ゲーム先取で各5戦



優勝=藤田由佳・中村麻由(写真前列右)  
準優勝=伊東陽子・平松美和(前列左)  
第3位=森田理恵・平田慶子(後列右)  
4位=大越三代子・神鳥あかね(みずぎTC) 5位=伊藤弓子・西尾祐子 6位=藤本智子・高石美咲

	伊・西	藤・高	森・平	大・神	伊・平	藤・中	勝敗
伊藤・西尾	○	○	○	○	○	○	1勝4敗
藤本・高石	●	○	○	○	○	○	0勝5敗
森田・平田	○	○	○	○	○	○	3勝2敗
大越・神鳥	○	○	○	○	○	○	2勝3敗
伊東・平松	○	○	○	○	○	○	4勝1敗
藤田・中村	○	○	○	○	○	○	5勝0敗

## レディースチャレンジ大会6組熱戦

# 藤田・中村組V

第12回レディースチャレンジ大会は10月3日(水)市民公園Aで開催。出場6組。6ゲーム先取・ノードの総当たりリーグで各組5戦。所属は大越・神鳥組を除きフリー。昨年準Vの平田・藤田・中村組が苦戦しながら5戦全勝で初優勝。初戦で藤田・森田組、初出場ながら地方のある藤田・中村組、過去V経験の伊東・平松組、昨年表彰台を逃した大越・神鳥組らが熱戦。

### <歴代の優勝ペア>

07年 三浦牧子・花本葉子  
08年 松垣利恵子・東 静香  
09年 荒川由香里・手島敦子  
10年 荒川由香里・伊東陽子  
11年 西 美子・片岡里佳  
12年 (お流れ)  
13年 松永亜紀・鈴木悦子  
14年 (お流れ)  
15年 大島幸子・町田ひさ子  
16年 田端典子・池田富子  
17年 (「チャレンジ」に改称)  
18年 作石 節・神村みはる  
藤田由佳・中村麻由



# 殷組 2年連続 3度目 V



川崎組 両者 V



## 140歳超の近藤・高木組下す

### 48組中37組出場

第13回「100歳ダブルス大会」は9月8日(土)を延期、9月22日(土)市民公園で開催。小雨。集まった選手総出で水掃き。エントリー48組のうち出場37組。2時間遅れ1時間開始でトーナメントとコンソレに変更。本戦決勝は山口嘉裕・殷耀晨組(西山クラブ)が超140歳(ペア)の近藤峰夫・高木順組(協会)に快勝して2年連続3度目の優勝。コンソレは決勝の時間がなく、嶋・川崎組、加藤渡・加藤千里組の両者優勝。

### 総出で水掃き2時間・11時開始

午前9時集合したが雨。天気予報をにらみ、開始を11時に変更。Aコートは選手がスポンジで2時間かけて「お水取り」。ようやく開催にこぎつけた。例年のリーグ後に順位別トーナメントは時間的に無理。「トーナメントとコンソレ」とした。前年

### <100歳ダブルス 成績>



優勝=山口嘉裕(Ⓢ)・殷耀晨(Ⓢ)  
(西山クラブ)  
準優勝=近藤峰夫・高木順  
(テニス協会)  
第3位=黒瀬達也・川口綾  
(ARP)  
高塚敏夫・中垣孝行  
(ロング・ロング・ロング)

### [コンソレ]

両者優勝=加藤 渡・加藤千里  
(BEARS)  
嶋 利男・川崎和子  
(フリー)  
第3位=下村富士美・松井ゆかり  
(フリー)  
横田誓子・宇水良江  
(琵琶子)

成績をもとに第1、第2シードを置き、初戦同所属対戦を避け、パソコンソフトで無作為抽選。ドロー表の後番14(ペア)はBコートに移り、試合開始。準決勝以降はAコートで。

### 混復の2.ペア Vあと一息

準々決勝4試合は、山口・殷(男)―加藤・杉浦(男)磯村・水谷(混)―黒瀬・川口(混)高塚・中垣(男)―金川・中西(男)福島・加藤(男)―近藤・高木(男)混復2.ペアが奮戦、大会史上3組目の混復Vをめざしたが、山口・殷組―黒瀬・川口組近藤・高木―高塚・中垣組の準決勝となり、山口組が黒瀬組の追撃を振り切り6―4で決勝へ。近藤組は先制攻撃のリードを保って6―1で決勝進出。

### 山口組すぐ逆転…快勝

決勝は山口・殷組が第1ゲームでブレイクを許したが、すぐ挽回して逆転。リードを保って6―2で快勝。2年連続3度目の優勝。「お釣りの41歳最年長の近藤・高木組は、近藤の甘い返球が狙われて守勢を強いられ、14年以來の2度目Vはならなかった。

回	年	優勝ペア	混男男
1	06	横山真和・高木淳子	男男男男男
2	07	高木順・長沢裕二	男男男男男
3	08	高木順・水野福泰	男男男男男
4	09	長江茂幸・藤吉隆二	男男男男男
5	10	横山真和・原川誠二	男男男男男
6	11	近藤峰夫・金川和仁	男男男男男
7	12	横山高雄・富士浩平	男男男男男
8	13	加藤勤・福島峰夫	男男男男男
9	14	高木順・近藤耀晨	男男男男男
10	15	山口嘉裕・殷美裕	男男男男男
11	16	久田時彦・久田嘉裕	男男男男男
12	17	殷耀晨・山口耀晨	男男男男男
13	18	山口嘉裕・殷耀晨	男男男男男

「福井国体テニス愛知選手」成年女子宮田みほ(明治大)、伊藤日和(同志社大)▽少年男子池田朋弥(誉高)・影山大星(名経大市)高▽少年女子永田杏里(南山高)・阿部宏美(愛知啓成高)

### 国体強い永田・阿部少年女子V2

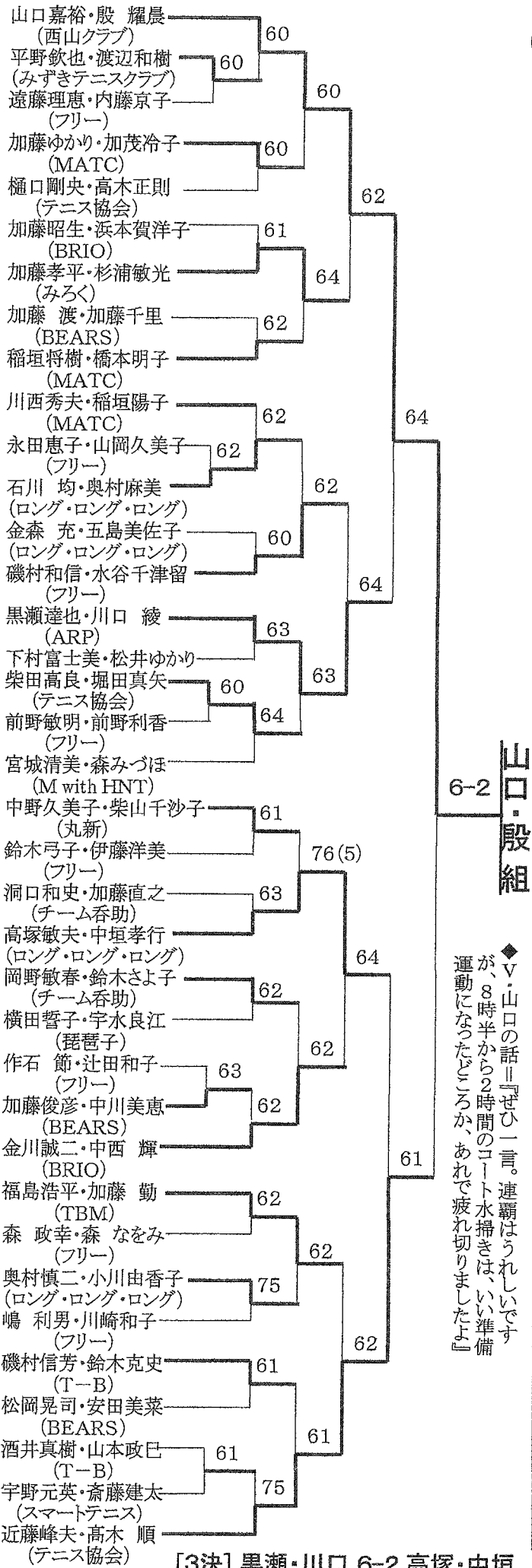


阿部(Ⓢ)・永田(Ⓢ)、小学4年生から同じクラブ。息びったりの複で国体2連覇

旧知の2人、激戦を制す少年女子決勝、埼玉と。第1単を4―8で落とした永田は「阿部さんがいるから大丈夫」と。ペアを信じた。昨年決勝単で敗れた阿部は「今日は私が支える」と決意、第2単を8―6で取り返す。迎えた複。18歳の2人は、小学4年生時から同じクラブで鍛えた仲。このペアでの点の取り方は体に染み込んでいると、前後のチェンジからボレーで相手を圧倒。8―4で取って2連覇を果たした。永田は「連覇はプレッシャーだった。ダブルスで一勝に勝って、かえってよかった」。阿部は「昔から一緒に戦ってきた永田さんだから余計にうれい」と笑顔で語った。

100歳複

山口



山口・殷組

◆V・山口の話「ぜひ一言。連覇はうれしいですが、8時半から2時間のコート水掃きは、いい準備運動になったどころか、あれで疲れ切りましたよ」

「100歳」4強——2年連続3度目優勝の山口・殷組(前左)、準優勝の近藤・高木組(前右)、第3位の黒瀬・川口組(後右)と高塚・中垣組(後左)



加藤夫妻／嶋

コンソレ

準決勝終了は4時55分：時間切れ  
 初戦の敗者によるコンソレも6ゲーム1セットマッチ(6-6タイブレーク)。コート、大詰めは午後4時過ぎ。準決勝で横田・宇水組(女複)を下した嶋・川崎組(混合)が腕を撫して決勝待機。



コンソレは決勝進出の2組が両者優勝。嶋・川崎組◎と加藤渡・加藤千里組◎

一方、加藤渡・千里夫妻組と下村・松井組(女複)の準決勝はタイブレークにもつれこむ大接戦。加藤夫妻が辛勝して決勝進出を決めたが、既に4時55分。残念ながら時間切れ。決勝と3決は行えず、嶋組・加藤組両方優勝とし、同じ賞品を授与。3位も下村組と横田組の両方。

ジャパン女子OPD 穂積・張帥組V

16日まで)の日本勢は単1回戦で加藤未唯(前年準V:184位)、土居美咲(170位)、奈良くるみがいずれも敗退。日比野菜緒(二宮出身)がブシャー(カナダ)を下して2回戦へ進んだが、第1シードの張帥(中国)に4-6、6-1で敗れ、日本勢は全滅。決勝は第2シードの謝叔微(台湾)が予選上がり、17歳・アニモワ(米)を6-1、6-1で退け、ツアー3勝目。280ポイントと賞金482万円を獲得。加藤・二宮組は準優勝。復は、アジア大会(銅)で第1シードの加藤・二宮真琴組が決勝。第2シードの穂積絵莉・張帥組は第3シードの青山修子・段瑩瑩(中国)組との準決勝で快勝。決勝は穂積・張組が6-1、6-1で勝って優勝。賞金138万円を獲得。

[3決] 黒瀬・川口 6-2 高塚・中垣

# 大坂 全米優勝

日本選手初の4大会単制覇

## 憧れのセレナに完勝

全米(9月9日まで)女子単決勝で大坂(20歳)がセレナ(米36歳)に快勝。日本選手初の4大会単制覇。男子は錦織が準決勝でジョコビッチ(31歳・セルビア)に14連敗。ジョコビッチがデルポトロ(アルゼンチン、29歳)を下して3年ぶりの3度目のV。【8強入りまでは既報】



険悪な表彰式も我慢。スピーチでムードを一変させ、優勝カップを掲げる大坂

『大阪生まれはみんな大坂よ』が得意ジョーク。姉・まりもプロ。ハイチ出身の父・日本人の母がウリアムズ姉妹を夢みて…3歳でNYへ。ヨネックスが支援。15歳でプロ。16年・4大会初出場の全豪で3回戦進出。WTA最優秀新人賞。サーシャ・パイン(33歳・独)の指導でメンタル強化。年初70位前後。3月「パリバ」初V。日清食品。180センチ。200キロ。サーブの強打者。天然キャラ。危い日本語で「なのおみ節」。趣味はアニメゲーム。すし、カツが好物。快挙後「カツ丼と抹茶アイス食べたい」。帰国会見で「ねむい」。日産高級車2台ゲット。賞金で両親に大型テレビを贈るといふ。

◆大坂なおみ(20歳)の素顔



健闘を称えあう大坂(左)とセレナ(右)

第2セット「女王」乱心  
3度警告で1ゲーム失  
大坂「セレナ。3月の初対戦「マイアミ」では大坂圧勝。セレナを見てテニスを始め、幼少から憧れる4大会23勝の女王に再挑戦。

第1セット、大坂は7本絞った体で動きがよく互角以上のラリー。サーブも好調。パスも冴えた。2ブレークに成功し6-2で先取。第2セット第2ゲーム、「コーチン」で警告を受けたセレナが猛抗議。その後も執拗に主審に罵声。大坂は第4ゲームを破られたが、

大坂なおみ

【女子単 準々決勝以降】

⑬ セレナ	20
⑧ K・プリスコバ	20
③ スティーブンス	20
⑨ セバストワ	20
30 スアレスナバロ	20
⑭ キーズ	20
⑳ 大坂なおみ	20
36 ツレンコ	20
20歳	62
64歳	64

◆大坂の話=『みんなセレナのファンなのにこんな終わり方でごめんなさい。(セレナに)対戦できて感謝してます』

◆セレナの話=『ナオミは優勝にふさわしい素晴らしいプレーをした』

【男子単 準々決勝以降】

① ナダル	32
⑨ テイエム	20(棄権)
③ デルポトロ	31
⑩ イスナー	31
⑦ チリッチ	32
21 錦織 圭	30
⑥ ジョコビッチ	30
ミルマン	30
63歳	63
64歳	62
62歳	62

ジョコビッチ

## 錦織準決勝「天敵の壁」

男子単は第2ラウンド・錦織が準決勝でチリッチ(29歳)とアチコと激闘4時間8分・2-1

すぐ第5ゲームをブレークバック。イラ立ったセレナがラケットを叩



4強・錦織、準決勝でジョコに14連敗

き壊し、2度目の警告で失点1。第7ゲームも大坂がブレーク。逆転されたセレナがキレた。主審に「点を返せ、泥棒!私に謝れ」と暴言。3度目の警告。大坂に1ゲームが与えられ、5-13。5-14で大坂サーブ。40-30からボデーを狙った「サービスポイント!快拳の瞬間となった。精神的弱さを「集中と我慢」で克服し偉業達成の大坂。ブレイクの表彰式も謙虚なスピーチで救った。セレナに罰金100万円。賞金から減額。セレナは「マナー悪く過去度々罰金を科されている。」

【今全米・錦織の戦績】

1回戦	○マルテラー 3-0
2回戦	○モンフィス 1-0 棄権
3回戦	○シュオーツマン 3-1
4回戦	○コールシュライバー 3-0
準々決勝	○チリッチ 3-2
準決勝	●ジョコビッチ 36、46、26
決勝	

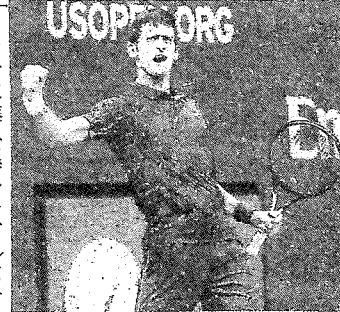
【大坂の戦績】

○シグムント	63、62
○グルンニコ	62、60
○サスビッチ	60、60
○サパレンカ	63、26、64
○ツレンコ	61、61
○キーズ	62、64
◎セレナ	62、64

## 大坂4位

10月8日付け世界ランキングで大坂は4位にアップ。過去、伊達、錦織に並んで日本選手最高位。全米の2000点が大きい。ただ1年後に消滅するのでトップ10維持は大変。1位ハレブ、2位ウオズニアツキ、3位ケルバーは変わらず。

◆錦織の話=『なおみの快進撃が励みになったが、ジョコビッチにはラリーで打ち負け、主導権が握れなかったのが敗因だ』



全英、全米を制したジョコビッチ

## ジョコ3度目V

男子は準決勝でナダルが右膝痛で棄権。決勝はジョコビッチがデルポトロに6-3、7-6、6-1で快勝。3年ぶり3度目のV。賞金4億2180万円獲得。全英に続き4大会2連勝。

複覇者 全米男子複は米のMブライアン・ソック組、女子複はパーティー・アンディの兄)組がいずれも初優勝。車いす単の国枝は決勝で敗れ3年ぶりのVはならず。女子の上地も連覇を逃した。



# 東レ・パンパシ 8位・プリスコバに屈す

全米女王・大坂なおみ(20歳・7位)の凱旋試合「東レ・パンパシ」(9月23日まで・立川)。第3シード・大坂は順調に決勝進出したが、第4シードのK・プリスコバ(チエ・元1位)に敗れ、初優勝ならず。複は加藤未唯・二宮真琴組が殊勲の初V。

## 「新幹線」 決勝特急

大坂は2回戦登場。日比野菜緒(一宮出身)を下したチエ・プリスコバ(30位・元4位・スロバキア)と。好調維持。6-1、6-1の圧勝。



複初優勝の加藤⑥・二宮⑦組

# 大坂無念準優勝

※のスピードから1996年のフラットを使い分け、3連続はじめエース10本。敗者は「あれだけ強いサーブを打たれたらポイントを取れない」と白旗。準々決勝は25位ストロコバ(チエ)。過去1勝1敗。大坂の速さ・力強さを「新幹線」と呼んだが、今回も「新幹線」はノーストップ。1セットサーブは確率51%と低く、1ブレークされたが、6-3、6-4。プレッシャーはない。ドキド

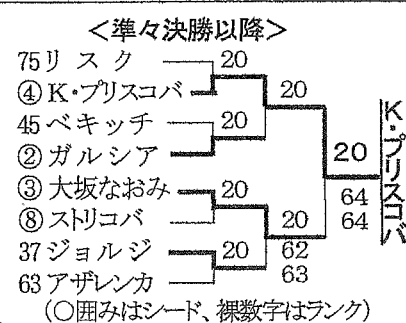


決勝。ポイントを失い顔を曇らす大坂

キ感を楽しんで「平和」な準決勝は37位の曲者ジョルジ(伊)と初対戦。6-2、6-1

## 加藤・二宮組が優勝

加藤・二宮組が強豪を連破して決勝進出。第1シードのラバーチコバ・ストロコバ組(チエ)を6-1、6-4で倒して日本勢として初優勝を果たし、賞金484万円を獲得。初戦から小堀・清水組を6-1、6-3。キチエコバ(ウケライナ)・スレポート(ニコ・スロバニア)

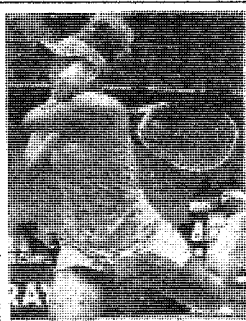


3の圧勝。「緊張した。何としても決勝行きたかった。反省点はリターンだけ」と自信。

## 決勝ストレス溜まつた

決勝は8位・プリスコバ(チエ)と。身長186cm、強サーバー。第1セット、2-2からストロコバが目立つ大坂が第5ゲームを破られ4-6で落とす。第2セット、4-3のリードでコーチを呼び、ブレークを期したが不成功。逆に第9ゲームを破られた。最後はボールを追う気力も薄れ、あっさりゲームを渡して4-6で敗れた。プリスコバは今季2勝目。通算11勝目。大坂と入れ替わり7位に。賞金1550万円獲得。

## 姉・まり予選初戦負け



大坂なおみの姉・まり(22歳・写真)が予選に出場。1回戦、妹の応援を受けて奮戦したが、独逸手に1-2で敗れた。

## 加藤・二宮組が優勝

組を6-1、4、2-6後、タイブレーク10-7。準決勝でダブロウスキー(カナダ)・徐(中国)組を7-6、6-0で破った。今西・ツアヤ(独)組は準々決勝敗退。奈良・尾崎組、井上・村松組、林・内島組、日比野・カラシニコワ組、青山・段組はいずれも1回戦で敗れた。

# 中国OP 準決勝20位にセバ敗退

大坂は武漢OP欠場。翌週の中国OP(10月1日)第8シード。1回戦、予選上がり91位・ディアス(カザフスタン)を6-1、6-3。2回戦で37位・コリンズ(米)に最

初ゲームを破られた後12ゲームを連取し、6-1、6-0。3回戦も10位・ゲルゲス(独)に6-1、6-2の圧勝。友人・張帥に逆転辛勝



張帥⑥を逆転、4強入りしたが...

準々決勝は友人の張帥(中国・45位)。アウエー状態。大坂はサーブ・ストローク不調。第1セットを3-6で落とす。第2セットを6-4で取り返したが最終セット、3-5と瀬戸際。ベンチで涙顔。コーチの助言で「勝敗を忘れて、今なにをするかだけ考えた」と、4ゲームを連取7-5で逆転勝ちし4強入り。ゲーム中に何度もラケットを投げつけ

# 日本デ杯WG残留

## ボスニア・ヘルツェゴビナに完勝

男子国別対抗戦「デ杯」ワールドグループ(WG)16強入りルツェゴビナ(9月14〜16日)れ替え戦の日本・ボスニア・ヘルツェゴビナに完勝

ダニエル太郎(エイブル)	25歳	単ランク72位
西岡良仁(ミキハウス)	22歳	同170位
内山靖崇(北日本物産)	26歳	同212位
綿貫陽介(日清食品)	初 20歳	同276位
マクラクラン勉(NZ出身)	26歳	複最高21位



3勝目を挙げた内山⑥・マクラクラン勉⑦組

た非礼を相手に詫言。競り合い：腰痛め

準決勝は20位・セバストワ(ラトビア)。大坂はミスが多く第1セット4-6。腰の治療タイムを取るが第2セットも4-1から2ゲームを連取され4-6で敗れ、4強止まり。

「ファイナル」進出確定 大坂は初戦突破時点で「WTAファイナルズ」(年間8強戦・10月22日)シンガポールに進出が確定。日本選手では伊達・杉山に続く史上3人目。

◆香港OP欠場 大坂は腰痛もあり、香港オープンに欠場し「WTAファイナル」に備える。

◆大阪靱単4複1で日本は初日の単でダニエルが240位・ブルキッチを6-1、6-2、7-1、6-0。西岡も79位・パシッチを6-1、6-3、6-1で破り、2連勝で早くも王手!

2日目の複、内山・マクラクラン組がブルキッチ・フアティッチ組に6-2、6-4、6-1で快勝し、WG残留を決めた。

最終日は3セットに短縮1試合、20歳の綿貫が958位ポヤノビッチを6-1、6-13で下し、日本は1セットも失わず4勝0敗。ファイナル出場をかけた来2月の予選(24か国)で日本はシード国となる。

本戦は来年11月一括実施。

上地と国枝 五輪決定

アジアパラ大会 単優勝 アジアパラ大会車いす女子単で世界2位。上地結衣が朱中(独)を下して優勝。男子1位の国枝慎吾は単複2冠。ともに東京パラ五輪出場を決めた。

# 錦織 決勝に弱し

ジャパンOP メドベージェフに不覚



ジャパン・オープン初優勝のメドベージェフと準Vの錦織



杉田を下した錦織

ジャパン・オープン決勝(10月7日・調布)で錦織は32位のメドベージェフ(ロシア)に敗れ3度目のVを逃した。昨マイアミ以来、決勝8連敗。初戦、杉田を下し、苦手ペール(仏)、新鋭シチパス(ギリシャ)、難敵カスケ(仏)を連破したが決勝で予選上りのメドベージェフに2-1、4-1の完敗。彼はアクララン勉シニエルフ(独)組が優勝。勉は2連覇・2週連続Vで3勝目。

昨マイアミ以来8連敗  
第1、第2シードが8強に残れず。錦織1回戦は杉田。2

## <ジャパンOP 準々決勝以降>

シニエルフ	21		
シャポバロフ	20		
32 メドベージェフ	20		
⑥ラオニッチ	20	62	64
③錦織	20	63	63
⑤シチパス	20	76	61
⑧カスケ	20		
②アンダーソン	20		

(○囲みはシード・裸数字はランク)

## 藤井七段 新人王へ王手!



### 叡王戦は本戦入り

藤井君は9月17日、第4期叡王戦の予選準決勝で小林裕士七段(41歳)、決勝で千葉幸生七段(41歳)を連破し、2期連続本戦進出を決めた。藤井君は9月14日、次期第60期王位戦予選トナメント1回戦で初対戦の山崎隆之八段(37歳)に敗れた。9月3日、棋王戦で菅井王位に敗れた。8大タイトル予選での初戦敗退は初めて。豊島棋聖が王位を奪い2冠。

### ネットのTV超早指し 藤井君が優勝

藤井君はネットTVの非公式戦「第1回Abemaトーナメント」決勝で佐々木勇気六段を2勝1敗で下して優勝。羽生竜王、久保王将らも出場。持ち時間各5分・1手毎5秒加算の超早指し。

### 錦織、フエアラーに敗れ4強ならず

10月8日、第8シード、初戦でフエアラーに敗れた。賞金約1492万円獲得。復はマクララン勉シニエルフ(英)組が優勝。

### 主「GO!ファイナル」

年間8強によるファイナルをめぐり錦織は10位、8位テイエムと約700点差。1回戦ではいかにない。じつくり狙うと残りの大会に挑む。

## 西岡ツアー初V

西岡津市出身が中国深オープン(9月)で予選上りながら準決勝で28位ペルダスを逆転。自身初のツアー決勝進出。67位エルペール(仏)を7-5、2-1、6-4で破って初優勝(写真)。松岡錦織、杉田、ダニエルに次ぎ日

### STKニュース

瀬戸市テニス協会業務部発行の会報。原則隔月。昭和50年(1975年)創刊。98年から定期刊行。第10号まで梶田俊幸元理事が制作。2000年、第1号から業務理事・近藤峰夫が編集・発送。部数270。

### 安室 逝く



平成の歌姫・安室奈美恵(41歳)が9月15日の沖縄・宜野湾市でのライブを最後に引退。ファンに25年間ありがとうと感謝の言葉をリフレイン。

### 希林 逝く



樹木希林・女優。本名・内田啓子。「悠木千帆」名を売却。名老け役。全身癌で9月15日死去。75歳。ロック歌手・内田裕也の妻。俳優・本木雅弘の義母。

### 大差で勝った!

セ・広島、パ・西武が断トツのリーグV。巨人・由伸辞任、原が復帰。中日は与田、阪神の新監督は? ベルリンマラソンでキプロス(ケニア)が2位に大差の世界新2時間1分39秒で連覇。リオ五輪覇者。1戦10勝。5千12分46秒。1万26分49秒の高速ランナー。大迫が日本新の2時間5分00秒(シカゴ7日)で1億円。差4分強。沖縄知事選は8万票差で玉城。

おなみパーティー

おなみパーティー。「東レ」満席。ヨネックスラケット大売れ。テニス教室申し込み急増。報奨金800万円。アデイドスと10億円契約。カツ井・抹茶アイス我慢。女王になろうと1歩。西岡、ツアー初Vで100位入り。錦織なるか「ファイナル」。